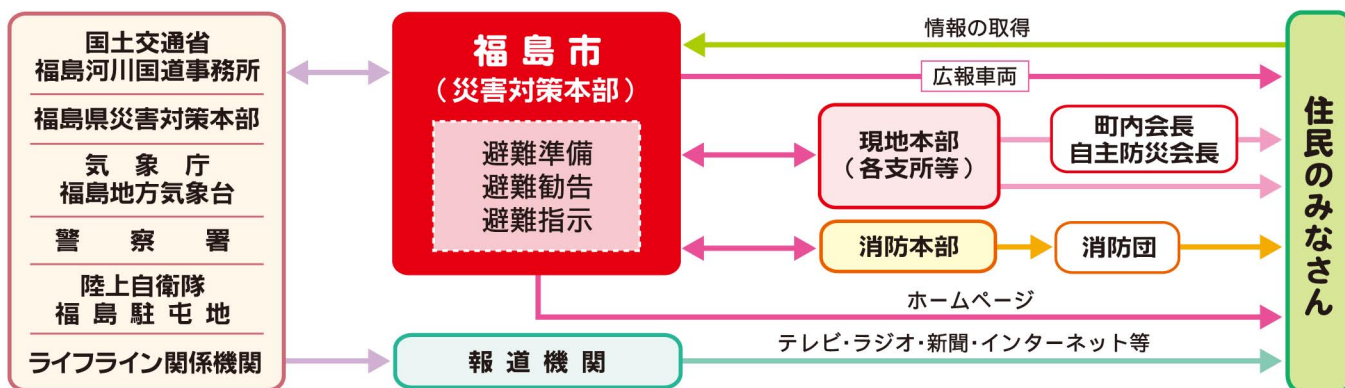


# 防災情報の伝わり方

気象情報・防災情報は、このような経路・手段でみなさんに届きます。



市が発表する情報	危険度	発令時の状況	みなさんがとる行動
避難準備	低	人的被害の発生する可能性が高まった状態 (要援護者の避難)	避難できるように準備し、情報を収集してください。高齢者の方などは、この段階で避難しましょう。
避難勧告	↑	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態	家族、近所で助け合いながら避難所に速やかに避難しましょう。
避難指示	↓ 高	前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から人的被害の発生する危険性が高いと判断された状況	一刻も早く安全な場所へ避難してください。

**インターネット情報**  
●ホームページアドレス

- 気象庁(福島地方気象台) — <http://www.jma-net.go.jp/fukushima/>
- 国土交通省(福島河川国道事務所) — <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>
- 福島県 — <http://www.cms.pref.fukushima.jp/>
- 福島市 — <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>

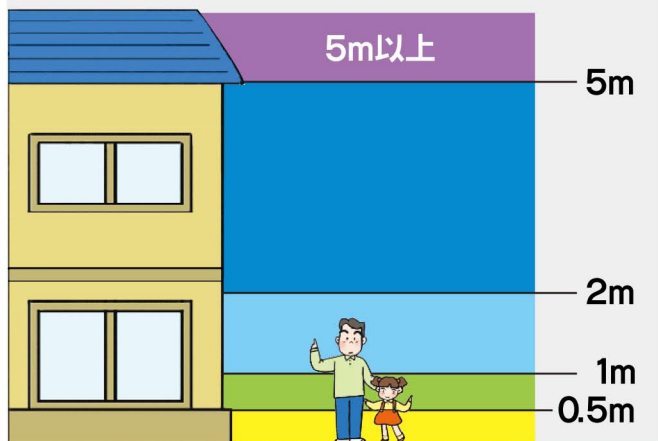
**注意!**

- 次のような状況では、災害情報が伝わりにくくなります。
- ◎雨戸を閉めきって寝ていた。・テレビ・ラジオをつけていなかった。
- ◎停電中だった。 ◎道路浸水などで広報車や消防車が広報できなかった。

# 河川浸水による水深の目安

## 浸水ランクの目安

- 5.0m以上の区域
- 2.0~5.0m未満の区域:2階の軒下まで浸水
- 1.0~2.0m未満の区域:1階の軒下まで浸水
- 0.5~1.0m未満の区域:大人の腰までつかる程度
- 0.5m未満の区域:大人の膝までつかる程度



※上のイラストは、浸水深の概ねのイメージを示したものです。

「福島市洪水ハザードマップ」は、大雨により河川がはん濫した場合、浸水する可能性のある区域の水深を、各河川管理者から提供された浸水予測図に基づいて、色別に表示しています。阿武隈川、荒川、濁川などの浸水想定区域が重なる区域は、最も深い水深を表示しています。

大雨の基準は、阿武隈川が150年に1度、荒川、松川は100年に1度、濁川は50年に1度を想定しています。

浸水深は、あくまでもシミュレーションに基づくものです。着色されていない地域でも、絶対安全というわけではありません。大雨の時は、気象情報に十分注意してください。

自分の家を探して、どの程度浸水するか確認してください。